WORKSHEET 01

今日の、宝物のしるし。

話を全部書こうとしなくて大丈夫。心に残った言葉だけ、小さく記録します。

話した日　＿＿＿＿年＿＿月＿＿日　　**語り手**　＿＿＿＿＿＿　　**案内人**　＿＿＿＿＿＿

A｜なつかしの扉　心に残ったこと

B｜宝物の扉　心に残ったこと

C｜これからの扉　やってみたいこと

今日の宝物のひと言

本人の言葉を、できるだけそのまま残す。

今日の気持ち

□楽しかった　□懐かしかった　□驚いた　　□また話したい

語り手が話したくなかった内容は記録しない／共有しない。

WORKSHEET 02

一つの物語の、地図。

語り手が選んだ思い出を一つだけ。大切な部分を聞き直して、地図にします。

この物語に、仮の題名をつけるなら

① いつ・どこで起きた話？

② そこにいたのは誰？

③ 何が起きた？（最初 → 次に → 最後）

④ そのとき、どんな気持ちだった？

⑤ 今は、その出来事をどう感じている？

⑥ その人らしい言葉を一つ

選んだ思い出は、語り手本人が「残してもいい」と思えるものに。聞き手の好みで、別の話にすり替えない。

WORKSHEET 03

物語の、はじめの一枚。

90分で集めた言葉をもとに、ゲームのあとに文章を整えましょう。

物語のタイトル

書き出し（いつ、どこで、誰が）

思い出のできごと（何が起き、どんな気持ちだったか）

残したい本人の言葉（できるだけそのまま）

話を聞いた私が、贈りたい一言

完成前の確認

- ☐ 内容に間違いがないか本人に確認した
- ☐ 写真を使ってよいか確認した
- ☐ 誰に渡すか・誰に見せるか確認した
- ☐ 一冊にする準備ができた

WORKSHEET 04

これからの宝物、家族からの手紙。

物語の最後に添える、未来のひと言。今日の感謝と、これからの楽しみを書きます。

これから、一緒にしてみたいこと

今日、初めて知ってうれしかったこと

話してくれて、ありがとうと伝えたいこと

贈る人から、ひと言

次に会う日が決まっていなくても、「また一緒にお茶を飲もう」など、気負わない一言で大丈夫。
言葉にできたことそのものを大切に。